

---

# 亜人戦記

シークレット伯爵

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

亜人戦記

### 【Nコード】

N9129U

### 【作者名】

シークレット伯爵

### 【あらすじ】

亜人と人間の生存をかけた戦い

現在の地球で存在が確認されている生物は大きく四種類の種族に分けられている。

一種は【人間】

一種は【動物】

一種は【精霊】

一種は【亜人】

人間：奴等は我々動物を利用してきた種族だ。我々の遺伝子と人間の遺伝子を掛け合わせて、動物とも人間とも会話ができる【亜人】を生み出し、地球をより人間の支配化に置こうとしている。必要なまでに殺戮し、同種族同士で殺しあう醜い種族だ。我々は人間に対抗すべく、動物界にリーダーをつくった。【ライオン】その中でも人間との会話ができる神の使者『サウザウ』様をリーダーに人間に対抗している。

そうは言っても人間の知能に動物が敵うはずもない。動物は人間に圧倒的に制圧されていた。過去に約一五〇万種存在していた動物は数百種にまで激減してしまった。

そこでサウザウ様が亜人のリーダーと交渉し、仲間に取り入れた。これは、我々と人間達との戦いの記録である。

ここは仲間が収容されている『デッドハウス周辺』。昼間でも薄暗いこのあたりは昔は立派であつただろう施設の残骸やボロボロのコンクリート、爆弾などの噴煙であふれている。

「隊長！ もうだめです。撤退命令を！」

「生き残りは何体だ」

「自分と隊長と……」

「オレも生きてますよ！」と不気味な笑みを浮かべ【ゴブリン】の

『ゴブル』が隊長の隣に座った。

「隊長、もうだめですか？ まだいけますよ、だってオレ……」  
すると、まるで岩山のような巨大な影が噴煙の中でこちらに向かってきているのがうつすら見える。

「つれてきましたよ！ 【巨人族】の中でも最も命令に従う、ゴーレムちゃんです！」

その影は隊長の前にひざまづき目を光らせた。

「隊長、ご命令を」

隊長が「行け」と言うと、ゴーレムはドカンドカンと爆発音のような足音を立てて、デッドハウスに向かった。

ゴーレムが向かうその先には、デッドハウスを警備する武装した人間三〇人と戦車二隻があった。人間はゴーレムを見るなり発砲した。ゴーレムは強靱な肉体の男に一ヶ月間岩石のみを食べさせた結果、呪われ、生まれた亜人である。人間に対する憎しみ、悲しみは計り知れなく、その怒り、悲しみを静めることが出来るのはゴブルだけだった。

少し前の話

草木が生い茂り綺麗な川が流れる森林の広場で

「アンタさ、なんで人間なんかに従うんだ？」  
軽い気持ちでゴブルが聞くと

「動物たちを制圧すると元に戻してくれると言ったんだ」

「そんなわけないじゃん。アンタ利用されてるよ、多分。呪われている奴を、てか呪いを解く力なんて人間にはない。一生そのままだね」  
ゴーレムは下を向いた。「人間。騙したのか」震えていた。地も草も空も。震えていた。

「なあ！オレと……いやオレたちと一緒に戦わないか！？ 人間に勝つんだ！ 『サウザウ』様に頼まれてさ。アンタの力はうちの戦力になると思うんだ！ どうかね？」

「  
そうだな  
」

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9129u/>

---

亜人戦記

2011年10月9日10時57分発行